

# 子どもを守る安心の家の皆さんへ!

いつも見守って  
くれてありがとう



## 「子どもを守る安心の家」とは?

- ◆ 子どもが(又はその友達等)が、犯罪や声かけ事案、交通事故等の被害に遭い、又は遭いそうになり、助けを求めて来た場合の保護と、警察や消防への通報等



子どもを守る  
安心の家  
けいさつ・がっこう  
ぼんぼんまようかい

## その他に、何かすることはあるの?

- ◆ 不審者(車)を見かけた場合の警察への通報
- ◆ 登下校時における子ども達への「あいさつ」「声かけ」等の見守り活動
- ◆ できる範囲で「トイレの借用」、「傘の借用」、「拾い物の届出」、「怪我の手当」、「水分の補給」等で立ち寄った子どもに対する手助け等

## 子どもが保護を求めて来た時どうする?

- ① 子どもを家に入れて入り口を閉め、怪我の有無を確認する。
- ② まず、自分が落ち着くこと。
- ③ 場合によっては、子どもは興奮しています。それに合わせて慌てず、落ち着いて話を聞いて下さい。
- ④ 子どもを落ち着かせること。
- ⑤ 子どもに「もう大丈夫ですよ。落ち着いて。「何があったの。」とやさしく声をかけて落ち着かせて下さい。
- ⑥ 何をしたいのか聞くこと。
- ⑦ 怪しい人(不審者)から逃れるために避難して来たのか。
- ⑧ 体の具合が悪くて来たのか。
- ⑨ 警察官や家族などがすぐ来ることを話し、子どもを安心させること。
- ⑩ 事案に応じて110番又は119番通報すること。
- ⑪ 子どもが、犯罪につきまとい・声かけ事案などの被害に遭った場合(遭いそうになった場合は、すぐ110番通報して下さい)。
- ⑫ 怪我や病気で、救急車を呼んだ方がいい場合は、すぐ119番通報して下さい。



## 子どもから話を聞き出すポイントは?

- ① 何があったか
  - 不審者に声をかけられたのか。
  - 連れ去られそうになったのか。
  - 痴漢にあったのか。
  - 殴られたのか。
  - 交通事故に遭ったのか。
  - 怪我をしたのか。
  - 友達が被害に遭ったのか。
- ② いつあったのか
  - 今あったのか、今から何分前のことか。
  - 今日の何時何分ごろのことか。
- ③ どこであったのか
  - 事案のあった場所の町名は。
  - 近所の目標物は。
- ④ どんなふうになったのか
  - 「知らないおじさんにお菓子をあげると言われ、連れて行かれそうになった。」
  - 「若いお兄さんに、パンツを下ろされそうになった。」
- ⑤ 何があったか
  - 「友達と車とぶつかって怪我をした。」
  - 犯人や不審者について知っていることは
  - 性別、年齢、身長、頭髪、服装等は。
  - 逃げた方向はどっちか、逃げた方法は徒歩か、自転車か、バイクか、車か。



## 110番通報のポイントは?

- 110番通報すると「はい、110番警察です。」との応答があるので、慌てないで次の要点を落ち着いて話して下さい。
- ① 「子どもを守る安心の家」であることを告げる。
    - ▼ 「子どもを守る安心の家」であること、子どもに関する通報であることを告げて下さい。
  - ② 内容を伝える。
    - ▼ 避難して来た子どもから聞いた内容、自分が見た内容(事案名、場所、時間、状況、犯人の状況等)を順序よく話して下さい。
  - ③ 子どもが話せる場合は、子どもに替わる。
    - ▼ 子どもが落ち着いていて話ができる場合は子どもに話をさせて下さい。
  - ④ 通報者の住所、氏名、電話番号などを伝える。

